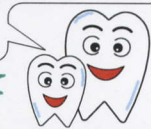




知らなきゃ損する 歯のはなし

羽生市木村歯科医院HPにて
バックナンバー掲載中!!



木村 匡司

②1子どもの歯を管理してあげましょう

「いそがしくて何度も連れて来られないので、とりあえずうちの子の歯は早いとこ詰めちゃってください。学校から検査の紙が来たのを早く出さなくてはいけないので…」虫歯だらけの子どもの歯を話めていくと、かなりの治療費となりま

す。しかし、そんな子どもは数か月でまた虫歯だらけになります。学校の検診があるのはせいせい一年に1回か2回、次の検診ではまた紙を持ってきます。そんな事を繰り返すのが嫌なので、私は最初

「磨きもしないで子どものせいにしてても虫歯は減りません。磨かせるのは歯科医院ではない、親のしつけです」とお母さんにお話します。親が子どもを養っているように、歯も親が管理してあげなくてはなりません。少なくとも小学校の高学年までは親の管理が必要です。食事も服も与えて子どもの世話をするのになぜ歯だけは管理せず、子どもが磨かないからと子どものせいにするのでし

ようか。ちなみに私は、明らかに歯を磨かない子どもは治療を進めず磨くようになるまで待ちます。それは、たとえ片っ端から詰めていったとしても、口の中をひと通り治し終わる頃には違う箇所がま

た虫歯になっていきます。歯科医院は歯を磨かせるための脅しの場所ではありません。不況で家計が苦しいと言いながら予防をせず医療費が高額な出費となっているなら、減らないのです。数か月毎に歯の治療をするとかかなりの治療費がかかりますが、予防をするとかかなり安く済みます。何度も何度も同じ歯を抜けるまで治療される子どもの気持ちと、高額な治療費の事を考えれば、予防をしてあげる事が親としても経済的にも嬉しいはずで



子どもたちの笑顔が親の幸せであるなら予防が一番です。あなたやあなたのお子様に合った予防方法は、かかりつけの歯科医や専門の歯科衛生士さんにご相談ください。